

修了認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と科目の対応〔2022年度以前入学者〕

■発達心理学専攻 博士課程（前期）

①	発達心理学および発達臨床心理学に関する専門的な理論や知識、技能を修得
②	必要なデータを収集・分析するための方法を身につける
③	得られた知見を専門的な論文によって発表する
④	発達支援に関する社会的な要請を理解し、実践・研究で専門的な貢献ができる
⑤	発達心理学および発達臨床心理学、隣接諸領域の研究動向に関心を持つ
⑥	新たな学問的あるいは現実的問題に対応できる柔軟な姿勢を持つ

科目区分	科目名	①	②	③	④	⑤	⑥
M発	修士論文指導			○			
M発	心理支援に関する理論と実践B	○					
M発	心の健康教育に関する理論と実践	○					
M発	臨床心理学特論					○	
M発	認知心理学特論					○	
M発	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践B	○					
M発	教育分野に関する理論と支援の展開A						○
M発	福祉分野に関する理論と支援の展開B						○
M発	福祉分野に関する理論と支援の展開A						○
M発	保健医療分野に関する理論と支援の展開B						○
M発	保健医療分野に関する理論と支援の展開A						○
M発	心理支援に関する理論と実践C	○					
M発	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践A）		○				
M発	臨床心理面接特論Ⅱ		○				
M発	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践A）		○				
M発	臨床心理査定演習Ⅱ		○				
M発	臨床心理基礎実習				○		
M発	臨床心理実習				○		
M発	心理実践実習BⅠ				○		
M発	心理実践実習BⅡ				○		
M発	教育分野に関する理論と支援の展開B						○
M発	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践A	○					
M発	心理実践実習A				○		
M発	臨床心理学研究法特論		○				
M発	心理学研究法特論		○				
M発	投影法特論	○					
M発	心理的アセスメントに関する理論と実践B	○					
M発	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開						○
M発	産業・労働分野に関する理論と支援の展開						○
M発	心理実践実習C				○		

■発達心理学専攻 博士課程（後期）

①	発達心理学および発達臨床心理学に関する専門的な理論や知識、技能を修得し、自らの研究関心に応じて必要なデータを収集・分析するための方法を身につけ、そこから得られた知見を専門的な論文によって発表することができること。
②	発達支援に関する社会的な要請を理解し、実践の場において、または研究の場において、専門的な貢献ができること。
③	発達心理学および発達臨床心理学、さらには隣接する諸領域の研究動向に関心を持ち、新たな学問的あるいは現実的問題に対応できる柔軟な姿勢を持つこと。
④	学術審査論文を2本以上、発表するように努めること。
⑤	研究は研究倫理審査会の承認を得ること。

科目 区分	科目名	①	②	③	④	⑤
D発	研究指導	○	○	○	○	○
D発	心理学実験指導法Ⅰ	○	○	○	○	○
D発	心理学実験指導法Ⅱ	○	○	○	○	○